

平成24年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 産業振興 室 商工労働 課
こども未来 こども

1. 基本情報

1103

施設名	伊丹市立労働福祉会館・青少年センター（スワンホール）		
施設の設置目的	勤労市民の福祉の向上を図り、青少年の健全な育成と福祉の増進を図ることを目的とする。		
指定管理者の名称	伊丹労働者福祉協議会 (団体の住所又は所在地) 伊丹市昆陽池2丁目1番地		
選定方法（公募・非公募） 及び指定期間	公募	平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日	
管理運営上の 目標 (管理運営を行う 上での指定管理者 の具体的目標)	指標名	利用者数 (単位: 人)	
	指標の意味	年間の施設利用者数 (目標値の内訳: 労働福祉会館155,000人・青少年センター40,000人)	
	今年度の目標値	195,000	今年度の実績値 184,370

2. 利用状況

利用 状況 等の 推移		H17※	H20	H21	H22	H23	H24 (上期)	H24 (通期)
	来館者数(人)		171,699	195,940	182,927	174,624	174,161	83,614
貸し室稼働率(%)		43	44	43	43	41	39	41
講座開催回数(回)		58	66	59	58	33	50	55
講座参加者数(人)		624	508	506	605	495	637	671

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成24年度 指定管理者の 収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
指定管理委託料		77,525	指定管理委託料	77,525
事業収入（講座料収入料）			事業収入（講座料収入等）	
その他		211	その他	211
合計		77,736	合計	77,736
	<支出の部>		<支出の部>	
人件費		32,176	人件費	32,599
維持管理経費		44,632	維持管理経費	43,012
事業等経費		928	事業等経費	920
その他			その他	
合計		77,736	合計	76,531
	<収支差>		<収支差>	
収入合計－支出合計		0	収入合計－支出合計	1,205

施設の管理運営 に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>		H20	H21	H22	H23	H24	H25
	市の収入		28,284	27,160	26,868	27,491	26,991
(内、使用料収入)		27,080	25,896	26,099	26,367	25,976	-
市の支出		84,899	80,257	78,656	77,948	78,356	-
(内、指定管理委託料)		82,391	80,257	78,059	77,948	77,525	-
実質経費（歳出－歳入）		56,615	53,097	51,788	50,457	51,365	-

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課意見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	(1) 環境への取り組みは環境マネジメントシステムで独自目標を設定し取り組んでいる(2) 修繕業務は、10万円を越える案件について事前協議し実施。	B	仕様書に基づき適正に管理されている。夏季・冬季の節電対策や環境マネジメントにも適切かつ積極的に取り組んでいる。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	職員研修はOJTを中心に取り組み遅滞なく業務遂行出来るまでレベルUP。	B	適切な職員配置を行い、利用者に安全かつ快適に利用してもらえるよう配慮している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急連絡網を整備し、事務所内と夜間対応として警備室に掲示。	B	適時適切に取り組まれている。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	一般利用の申込み受付期間を6ヶ月前に改定し平成23年9月より実施しているが、市関係の受付期間が1年の為特定施設(多目的ホール)で市関係の利用が多いと月初受け時言われる。	B	利用方法についての利用者からの要望等については、適時市との協議により改善を図っている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	ブライダル事業はご利用者が1件と少なく低調に推移。	B	結婚式の事業及び自主事業に今後も積極的に取り組んでもらいたい。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	利用者情報は施錠管理し、情報提供は『青少年センター通信』『スポーツ広場の開放』案内を作成提供。	B	個人情報の管理は適切に処理されている。ホームページでの情報発信にも取り組んでいる。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	適正に運営し、結果については毎月市へ報告している。	B	収支計画に基づき適正に運営されている。
経理処理は、適切に行っているか。		B				
施設所管課総評	概ね適切に施設を維持管理していると認められる。職員の資質向上やサービス向上のための研修の実施については、更に積極的に取り組んでいただきたい。また、利用者アンケートを早期に実施し、利用者の満足度を高める取り組みを推進してほしい。					

「評価」欄の記号の意味

「A」=協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」=協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」=協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。「-」=当該項目での評価対象外。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果の概要

実施の有無	主な回答内容
無し	

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置